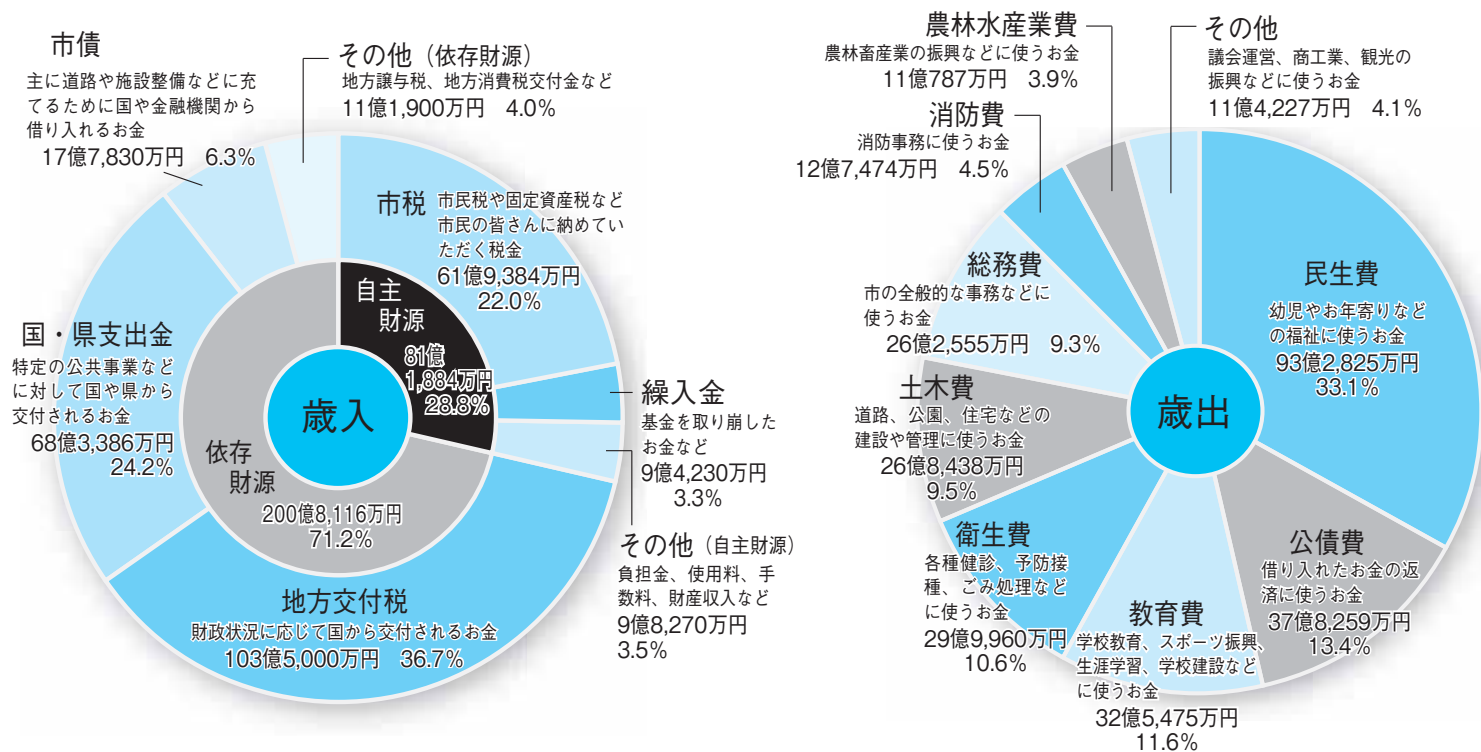


平成24年度 一般会計当初予算 282億円

平成24年度の一般会計当初予算は、前年度予算と比べ2億円増え、282億円となりました。当初予算の編成に当たっては、長引く景気低迷や病院事業への継続的な支援などによる厳しい財政状況の中、前年度同様、事業の「選択と集中」を基本原則としています。そのような中、「農業の振興」、「畜産の振興」、「観光の振興」の3つを柱とする1.1億円の特別枠を前年度に引き続き設け、将来を見据えた戦略的、特色ある事業を展開します。

財政局課財政係 ☎6713

■一般会計当初予算282億円の内訳（1万円未満は四捨五入）



■一般会計・特別会計・企業会計の予算と前年度との比較および各会計への一般会計からの繰出金の状況

会計名	予算額	前年度との比較	増減率	一般会計からの繰出金	
一般会計	282億円	2億円	0.7%	-	
特別会計	国民健康保険事業	79億135万円	3億218万円	4.0%	5億676万円
	地方卸売市場事業	2,125万円	0	0.0%	233万円
	後期高齢者医療	5億1,642万円	1,038万円	2.1%	1億7,156万円
	介護保険事業	58億5,142万円	1億1,891万円	2.1%	8億9,886万円
	温泉事業	2,655万円	△78万円	△2.9%	0
企業会計	水道事業	28億8,684万円	2億2,285万円	8.4%	8,508万円
	下水道事業	41億8,633万円	△2億5,880万円	△5.8%	11億7,732万円
	病院事業	102億880万円	8億3,802万円	8.9%	15億9,200万円

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

予算用語の解説

- ◆**一般会計** 教育、福祉、道路の整備など十和田市の基本的な事務・事業に関する会計です。特別会計および企業会計に属さないすべての歳入・歳出が該当になります。
- ◆**特別会計** 特別の事業を行う場合や特定の歳入を特定の歳出に充てるなど一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計です。平成24年度は5つの特別会計があります。
- ◆**企業会計** 企業的な性格を持った事業を運営するために設置された地方公営企業の会計です。十和田市には水道事業、下水道事業、病院事業の3つの企業会計があります。
- ◆**自主財源** 市税など市が自主的に確保できた収入です。
- ◆**依存財源** 国や県の意思で交付されたり、割り当てられたりした収入です。

■ 歳入

景気低迷の影響から、市税は前年度比1.7%減となる一方、地方交付税は国の増額方針により、同比0.5%増の103億5,000万円を見込んでいます。また、市債の発行は同比3.2%増の17億7,830万円、基金などの繰入金は学校建設などにより同比44.9%増の9億4,230万円を見込んでいます。

■ 歳出

主な事業を紹介します。★印は特別枠事業です。

1. 人と自然が共生する 「しぜん感動・創造都市」



- ★**焼山フラワーガーデン事業**……………8,516万円
十和田湖温泉スキー場のゲレンデに花畑を整備し、観光振興を図ります。
- 道路整備事業**……………8億542万円
国の補助制度などを活用し、道路整備を行います。
- 安全安心住宅リフォーム事業**……………440万円
耐震性や省エネ性能などを向上させる住宅リフォームを促進するため、工事費の一部を補助します。

2. 豊かな心をはぐくむ 「こころ感動・創造都市」



- 四和地区統合小中学校建設事業**……………11億2,965万円
昨年度に引き続き、校舎、屋内運動場の建設工事を行います。
- 東公民館ふれあい芝生広場拡張整備事業**……………871万円
東公民館の水路を整備し、ふれあい芝生広場として活用します。
- 郷土館移転事業**……………524万円
郷土館を市民図書館2階から旧十和田湖高齢者福祉センターへ移転します。
- 若葉球技場整備事業**……………2億246万円
若葉球技場の土のグラウンドを人工芝化し、サッカー競技の振興を図ります。

3. 安心・安全を支える 「くらし感動・創造都市」



- セーフコミュニティ推進事業**……………956万円
市民が安全で安心に暮らすことができるまちづくりを推進します。
- 子ども医療給付事業**……………8,488万円
これまでの「乳幼児医療費給付事業」を、新たに小学生の入院医療費の給付まで拡大します。
- 多重債務者等経済生活再生支援資金預託金**……………415万円
消費者信用生活協同組合が行う多重債務者への貸し付けのための資金を融資する金融機関へ預託し、生活再生を支援します。
- 高森山総合運動公園土砂流出防止事業**……………3,000万円
高森山総合運動公園の未整備エリアからの土砂流出防止対策の工事を実施します。
- 災害対策事業**……………414万円
備蓄物資・防災用機器などの整備などを行い、防災体制の強化を図ります。

4. にぎわいと活力あふれる 「しごと感動・創造都市」



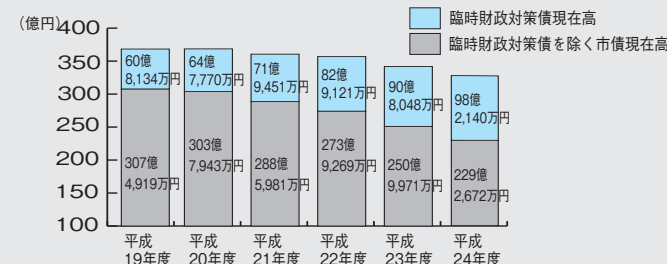
- ★**地域資源活用販売戦略事業**……………1,708万円
十和田産品を活用した商品開発などを行い、農産物加工品の売り上げ拡大を図ります。
- ★**肉用牛主産地づくり事業**……………716万円
優良繁殖雌牛群の整備などを行い、子牛生産から肥育までの一貫生産体制を強化します。
- 緊急雇用創出事業**……………2億4,090万円
東日本大震災や円高による雇用への影響などにより失業したかたに対し、次の雇用へのつなぎとしての雇用就業機会を創出します。
- 農畜産物等総合販売推進事業**……………1,807万円
農畜産物などの加工品利活用、米粉普及拡大、野菜ブランド化に取り組み、農業の振興を図ります。
- 中心市街地活性化事業**……………2億7,831万円
「中心市街地活性化基本計画」に基づき、市街地の整備改善や都市福祉施設の整備、商業の活性化のための事業などを行います。
- 十和田バラ焼きゼミナール補助事業**……………50万円
「十和田バラ焼き」を全国にPRしている「十和田バラ焼きゼミナール」へ補助します。

5. いきいきと活躍できる 「しみん感動・創造都市」



- 会議録検索システムの導入**……………190万円
過去の市議会定例会・臨時会の会議録から、目的の箇所を検索できるシステムを導入します。
- 公共施設整備事業**……………8,422万円
（仮称）市民交流プラザおよび（仮称）教育プラザ整備のための実施設計などを策定します。
- （仮称）建築デザインと地域文化フォーラムの開催…105万円
（仮称）市民交流プラザおよび（仮称）教育プラザの設計者を招いてフォーラムを開催します。
- 元気なまちづくり活動支援事業**……………1,000万円
市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、地域で活動する団体へ支援します。

■一般会計当初予算における当該年度市債残高見込み額の推移



※臨時財政対策債とは、財源不足を補てんするため借り入れする市債で、償還に要する費用は、後年度の地方交付税で措置されるため、実質的には地方交付税の代替財源といえます。